

世界的なバナナの病害危機に改めて警鐘

[FreshFruitPortal](#) 2025年11月3日

最近の決算報告後のオンライン説明会で、フレッシュデルモンテプロデュース社の会長兼CEOであるモハマド・アブ=ガザレ氏は、同社の財務結果の発表の中で時間を割き、同氏が**世界的なバナナ危機の急速な悪化**と位置付けた事態に言及した。

同氏は、バナナ農園の健全性は著しく悪化しており、世界有数のバナナ生産国であるエクアドルにおいてフザリウム萎凋病熱帯株4 (TR4) が確認されたと指摘し、「これは、これまでのコロンビア、ペルー、ベネズエラでの検出に続き、中南米における事態の深刻化を示すものである」と述べた。

また、極めて感染力が強く、土壌伝染性で、治療法が存在しないこの病害は、既にこの**地域の安定を脅かしている**と付言し、2021年にTR4が検出されたペルーのピウラ県における影響を振り返った。

その4年後の2025年に学術誌 World Development Perspectives に掲載された研究によると、**同県の農場の約半数が感染**しており、約10%は完全に壊滅したとされている。

フレッシュデルモンテ社は、世界第6位のバナナ生産国であるエクアドルへのTR4の拡散は、「食料安全保障、価格、及び農村地域の数百万世帯の生計に影響を及ぼす」ものであり、**バナナ危機における転換点**であるとしている。

アブ=ガザレ氏は、「ブラックシガトカ病が拡散する中でTR4が新たな国々に広がり、小規模生産者はますます厳しい状況に置かれている。すでに業界全体の利益率が低い中で、増大する病害対策の**費用は生き残りをますます困難**にしている」と述べた。

広範なバナナ危機

フザリウム萎凋病熱帯株4は、業界が直面する唯一の脅威ではない。ブラックシガトカ病もバナナ産地に打撃を与えている。両病害の影響により、**コスタリカでは生産量が前年比22%減少**し、これは約1,800万箱の損失に相当する。

フレッシュデルモンテ社によると、中南米の小規模生産者は壊滅的な損失に直面しており、多くが病害対策費の高騰に耐えられず、**すべての生産を断念せざるを得なくなる可能性**がある。

同社は、「供給維持のコストは上昇しており、安価なバナナの時代が終焉を迎えるかも知れない」と警告している。

警鐘は先送りできない

同社がバナナの危機に対する懸念を表明したのはこれが2度目である。

前回の8月初旬の決算報告後のオンライン説明会でも、同社はTR4及びブラックシガトカ病の急速な拡大と、それが世界的なバナナ不足に与える潜在的影響について言及していた。

(翻訳は情報の提供を目的としており、特定の企業や製品を推奨するものではありません。)